

## 高槻市定住プロモーションムービーの完成と 高槻市ホームページ、Youtubeでの公開について

高槻市は、約36万人が住む大阪府北摂地域を代表するベッドタウンです。大阪と京都のほぼ中間にあり、JRと阪急電車が通る便利な街として多くの方に認識されています。そんな高槻市が、現在進めているのが、将来的な定住者をもっと増やそうという試み。「あれもこれもが叶う街、高槻に住もう!どっちもたかつき」というキャッチフレーズを開発し、「どっちもたかつきキャンペーン」を実施してきました。この「どっちもたかつき」は、高槻市ならではの二面性を表現した言葉。すなわち都心でありながら、郊外にも豊かな自然が残されており、毎日の通勤に便利だけれど、子育て環境も充実している。古き良き文化が根付いている一方で、未来に向けてたゆみなく発展している。そんな多くの魅力があり、住環境や都市機能が充実した街であるからこそ、高槻市自らが、自信を持って定住をおすすめしている、と言えます。

そんな高槻市が、「どっちもたかつきキャンペーン」の一環として、プロモーションムービーを制作。映像を制作したのは、数々の有名ドラマを監督してきた大形美佑葵氏。女性ならではの視点を活かし、高槻市に実際に住む市民の生き生きとした姿を描き出しています。何気ない日常の風景を切り取ったムービーでありながら、見る者の心を躍らせ、幸せな気分にしてくれる、そんなプロモーションムービーに仕上がりました。出演しているのは、あくまでも一般の高槻市民が中心。もちろん、撮影場所も高槻市内の“絵になるスポット”を厳選。今城塚古墳公園などの名所や、ミュージアム高槻、高槻センター街といった商業施設、カンガルーの森や高槻市役所でもロケを敢行しました。あまり無駄な演技をつけることなく、普段のありのままの姿を、というのが監督のこだわり。見た人が「ここなら住んでもいい」と思えるような内容になっています。

プロモーションムービーを見るなら、以下のアドレスから視聴してください。

<http://www.city.takatsuki.osaka.jp/welcome/movie/>

また、このプロモーションムービーは、30秒に再編集されてシネアドとして出稿されます。12月7日から「高槻アレックスシネマ」、「イオンシネマ茨木」「109シネマズ箕面」で上映されるお正月映画「ルパン三世VS名探偵コナン THE MOVIE」の本編前に上映されます。また、来年1月11日から「TOHOシネマズ梅田」で上映される「トリック劇場版 ラストステージ」や、3月公開予定「劇場版ドラえもん」でも上映を予定しています。